

# IR立地による効果

## 観光振興・地域経済振興・公益還元

- 一大観光拠点・MICE拠点として、
  - ビジネス客やファミリー層の来訪者の増加
  - 訪日外国人の増加
  - 国際会議や大規模展示会開催の増加
  - 質の高い観光サービスの提供による1人当たり観光消費額の増加

- 持続的な民間の投資・運営による  
経済波及効果・雇用創出効果・財政への寄与
- すそ野が広い観光産業の振興による  
幅広い産業分野への波及効果

### 【参考】 夢洲における国際観光拠点の建設・運営における経済的効果 (夢洲まちづくり構想(案)より抜粋)

・第1期エリア(70ha)にIRを核とする国際観光拠点を形成した場合の施設規模や集客人口を想定し、建設投資や運営による経済波及効果等を算出

集客人口	約1,500万人/年	建設投資額※1	4,300億円
経済波及効果(建設投資)※2	7,600億円	経済波及効果(運営)※2	6,900億円/年
雇用創出効果(建設投資)※2	5.1万人	雇用創出効果(運営)※2	8.3万人/年

※1 建築物の建設費用のみが対象。その他の敷地造成工事、外構工事、設計管理に係る費用及び消費税等は考慮していない。また、公共施設整備は含まない。

※2 近畿圏の経済波及効果。雇用創出効果については自営業主、家族従業者含む。

# IR立地による効果

## 地域経済への大きなプラスの波及効果

- IR立地に伴い、付加価値の高いサービスを提供するための質の高い雇用が創出され、地域住民の所得向上に貢献また、女性やシニア層等の活躍の場が拡大され、多様な人材の育成に寄与
- 一大拠点の形成による新たな幅広い需要の増加に伴い、地元企業を中心にその波及効果が見込まれ、地域経済の活性化や産業振興に寄与
- イノベーションにつながる大阪・関西の強みを活かした最先端技術のショーケース化による新たな産業の創出
- IRによる集客力向上を契機として、宿泊環境、観光案内所、Wi-Fiなどの受入環境を世界最高水準に牽引し、都市魅力の向上、都市ブランド力の強化に貢献
- 24時間稼働する観光拠点の形成により、昼間の経済波及効果だけではなく、夜間も含めた経済活動へも幅広く波及

## 大阪だけではなく、関西、日本全国への波及効果

- 集客効果を大阪だけに止めるものではなく、世界と日本各地を結ぶ玄関口として、関西・全国各地の観光施設等とも連携して、各地へ観光客を送り出す機能を構築し、IR立地の効果を相乗的に全国各地へ波及
- IRの大きな集客力を契機として、より充実した交通ネットワーク形成を促進

## IRの実現を契機に依存症対策のトップランナーへ／治安・地域風俗環境対策をより充実

- 世界の先進事例に加え、大阪独自の対策をミックスした総合的かつシームレスな取組(大阪モデル)の構築
- 地域風俗環境の悪化を防止し、秩序の維持が図られるよう万全の対策を講じる

## 世界で存在感を発揮する都市の実現

(大阪の成長戦略より)

IRの  
立地効果

### 価値創造(ハイエンド)都市

強みを持つ産業、多様な分野で活躍する人材が生まれ育ち、集い、交流し、新たな価値を生み出す都市

### 中継都市

世界と日本各地を結ぶ玄関口として、ヒト・モノ・カネが集散し、日本の成長をけん引

# IR立地による効果

## 納付金・入場料等の活用

### 国の考え方

- **法第3条(基本理念) <抜粋>**  
カジノ施設の収益が社会に還元されることを基本として行われるものとする。
- **附帯決議第15項 <要旨>**  
納付金を徴収することとする場合、用途は、第1条の目的(観光・地域経済の振興、財政の改善)と整合するものとするとともに、社会福祉、文化芸術の振興等の公益のためにも充てることを検討すること。また、制度設計に当たっては、依存症対策の実施をはじめ法第10条に定める必要な措置(風俗環境の保持、広告・宣伝の規制、青少年の保護 等)の実施や周辺地方公共団体等に十分配慮した検討を行うこと。
- **国の推進会議資料より <要旨>**
  - 納付金 : 国と認定都道府県等で折半 / 固定的なカジノ管理委員会の経費に相当する定額部分とともに、GGR(賭金総額－顧客への払戻金)比例部分を合わせて一般財源として徴収 / 用途は附帯決議の趣旨を含め幅広く公益に用いる
  - 入場料 : 国と認定都道府県等で折半 / 一般財源として公益目的に用いる

### 大阪における活用の基本的な考え方

- 成長型IRの効果を最大限発揮するために必要となる周辺地域環境整備や観光施策等への活用
- 懸念事項を最小化するための総合的な懸念事項対策への活用
- IR立地の好循環を創出し、持続的な経済成長を実現するために必要な地域経済振興、産業創出への活用  
など

項目（案）

- 1. 大阪がめざす方向性・IRの必要性
  - 大阪を取り巻く状況 ・ 大阪の課題
  - 大阪のポテンシャル ・ 大阪・夢洲のポテンシャル
  - 大阪がめざす方向性 ・ なぜIRなのか

第2・3回議論部分

- 2. 大阪IRの基本コンセプト

- 3. 大阪IRのめざす姿
  - めざす姿 ・ IRを中心に発展するエリア
  - 交通アクセス

- 4. 懸念事項と最小化への取り組み
  - ギャンブル依存症の現状 ・ ギャンブル等依存症対策
  - 治安・地域風俗環境対策の現状 ・ 治安・地域風俗環境対策

今回議論部分

- 5. IR立地による効果
  - 観光振興・地域経済振興
  - 納付金・入場料等の活用

- 6. 地域の合意形成(府民理解の促進)に向けた取組

- 7. 全体スケジュール

第5回議論部分(予定)